

平成 22 年 8 月 27 日
総務省統計局

猛暑により消費支出の増加に寄与したとみられる主な品目等

(平成 22 年 7 月 - 二人以上の世帯)

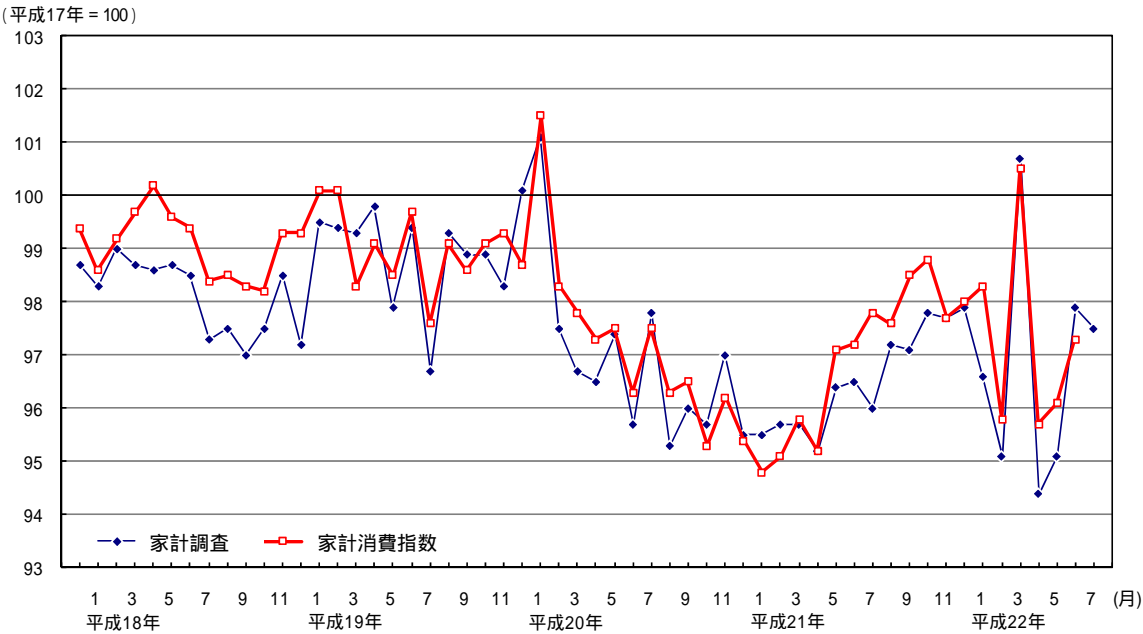
	対前年同月 実質増減率 (%)	寄与度 (%)
食料		
・梅干し	19.4	0.01
・ゼリー	19.8	0.02
・アイスクリーム・シャーベット	14.0	0.05
・他の主食的調理食品	2.3	0.01 (冷やし中華, うどんセットを含む)
・飲料	10.0	0.15
・発泡酒・ビール風アルコール飲料 及び他の酒	13.2	0.05
・飲酒代	7.5	0.03
光熱・水道		
・電気代	4.0	0.11
家具・家事用品		
・エアコンディショナ	52.2	0.32
・他の冷暖房用器具	66.8	0.05 (扇風機, 除湿機を含む)
・布団	39.0	0.02
・敷布	33.0	0.01
被服及び履物		
・他の男子用シャツ	3.9	0.01 (Tシャツを含む)
・他の婦人用シャツ	3.3	0.01 (Tシャツを含む)
・帽子	20.3	0.01
交通・通信		
・ガソリン	8.9	0.17
教養娯楽		
・スポーツ用品	12.9	0.04 (水着を含む)
その他の消費支出		
・浴用・洗顔石けん	6.2	0.01 (洗顔フォームを含む)
・他の化粧品	9.6	0.05 (制汗剤を含む)
・傘	32.9	0.01 (日傘を含む)

寄与度の合計 1.14

平成 22 年 8 月 27 日
総 務 省 統 計 局

家計消費指数の季節調整値（試算値）の推移

図表 家計調査^{注1)}及び家計消費指数^{注2)}の消費支出(季節調整済実質指数)



	平成 21年						平成 22年						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
家計調査	96.0	97.2	97.1	97.8	97.7	97.9	96.6	95.1	100.7	94.4	95.1	97.9	97.5
対前月変化率(%)	-0.5	1.3	-0.1	0.7	-0.1	0.2	-1.3	-1.6	5.9	-6.3	0.7	2.9	-0.4
家計消費指数	97.8	97.6	98.5	98.8	97.7	98.0	98.3	95.8	100.5	95.7	96.1	97.3	-
対前月変化率(%)	0.6	-0.2	0.9	0.3	-1.1	0.3	0.3	-2.5	4.9	-4.8	0.4	1.2	-

注1) 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA Ver.0.3、詳細は「家計調査の結果を見る際のポイントNo.12」(<http://www.stat.go.jp/data/kakei/point/index.htm>)を参照してください。)を用いており、うるう年(4年周期)、月末の曜日(28年周期)、曜日(7日周期)などの変動の要因を含めています。推定の期間は平成12年1月～21年12月で、22年1月以降は、予測(延長)季節指数を使用しています。

注2) 家計消費指数(詳細は「家計消費指数について」のページ(<http://www.stat.go.jp/data/gousei/3.htm>)を参照してください。)は、家計調査結果のうち毎月の購入頻度が少なく結果が安定しにくい高額消費部分を、家計消費状況調査の結果で補完した結果を指数化したもので、これにより家計消費の動向をより安定的に把握することを目的としています。

ただし、家計消費指数は、家計調査よりも後に公表する家計消費状況調査の結果を使用するため、家計調査の月分の結果を公表する時点(原則調査月翌月末)では、前月分の結果が最新となります。

なお、家計消費指数の季節調整済実質指数は試算値であり、季節調整の方法は注1による方法と同じになりますが、推定の期間は、平成14年1月～21年12月となります。